警告は、六月から発せられている。

戦後最大規模の不作に見舞われた昨年、九州の南西諸島、その被害は北海道、東北から西日本、九州へと広がる日本全国に及んだ。農林水産省の発表によると、全国平均の最終作成指針は東四、収穫量は七八一分に落ち込み、〇〇当たり収量は三八七kgとなった。

昨年の天候は大雨異常なものの、気象庁が昨年までにまとまった資料によると、南西諸島を除いてほぼ全国的に四月から〇〇月、つまり稲作のほぼ全生育期間にわたって、平均気温が平年を下回るという異常であった。特に七月上旬から八月中旬にかけては北海道から東日本では平均気温が平年より三〇度C以上低く、照度が低下し、かつ大気湿度も異常な状態が続いた。西日本も一部で三〇度Cも低下している。日照不足もまた、昨年の稲作は低溫に至った。

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養工作。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる

泥を練り固めない代養作業。通気性もよく、低温にも強い稲を育てる
1 踏み固めない

田んぼを

ゴムクローラトラクター

MKシリーズ

囲場を

本稿では、すでに何度もゴムクローラトラクターが登場してきたが、田んぼを踏み固めないことが必要となる。特に、田んぼによる耕作の際に、田んぼが踏み固められると、土壌の堆積を防ぐことができず、作物の生育に悪影響を及ぼす。よって、田んぼを踏み固めないように、ゴムクローラトラクターを使用することが重要である。

第二の特徴は、田んぼを踏み固めないようにするため、ゴムクローラトラクターは、田んぼの表面を平らに保つ機能を持っている。これは、ゴムクローラトラクターの特徴であり、田んぼを踏み固めないようにするための重要な機能である。

さらに、田んぼの土壌が踏み固められると、作物の根の伸長を阻害し、結果として、作物の生育に悪影響を及ぼす。よって、田んぼを踏み固めないようにするため、ゴムクローラトラクターは、田んぼの表面を平らに保つ機能を持っている。

第二の特徴は、田んぼを踏み固めないようにするため、ゴムクローラトラクターは、田んぼの表面を平らに保つ機能を持っている。これは、ゴムクローラトラクターの特徴であり、田んぼを踏み固めないようにするための重要な機能である。

さらに、田んぼの土壌が踏み固められると、作物の根の伸長を阻害し、結果として、作物の生育に悪影響を及ぼす。よって、田んぼを踏み固めないようにするため、ゴムクローラトラクターは、田んぼの表面を平らに保つ機能を持っている。
4 高能率に作る

しぐかりした畦を

畦塗機

富士トレイラー製作所㈱・ヤンマー農機

畦をきかんと作っているか否かは、深

水管理の大前提である。ひと昔前のよう

に、一家出でたへん手をかけて、畦

塗り作業を行っていた時代には、畦か

らの水塗りはさほど大きな問題ではな

かったはずである。むしろ、当時の畦塗

が悪い時は、時期が重なって、畑に

塗る間隙がなく、一面に塗られる

ため、塗りが悪いのは、畦の

水管理の不備かもしれません。今

の田面積が大きいので、畦は

塗る面積が大きいため、塗

りが難しいと感じられる

状況は、塗りのための

設備が必要である。

この部分は、穴が開きやすいところ

である。これを利用し、田面

塗りの効果を上げるための

施設は、必要である。

一方、ヤンマー農機の「スパー」畦

塗機YSA18は、バイブレーター方式

によって圧力で塗るため、穴

が開きやすくて、作業が

速い。たき方や、圧力は、

塗機の種類によって異なり

ている。

この様子を作業面積を

考慮して、塗機の種類を選

ぶのが大切である。